

## 下関市立豊田下小学校で森林体験学習を実施しました

令和6年2月20日（火曜日）、豊田町育林研究会（会長：林政幸）は、下関市立豊田下小学校の4・5年生15名を対象に、鹿角のアクセサリー作りと椎茸栽培を内容とした森林体験学習を実施しました。

これは、次代を担う子どもたちに、森林の大切さやそれを支える林業の重要性を体感し、理解を深めてもらうために実施したものです。

当日は、県下関農林事務所の職員から椎茸栽培と森林・林業の話、林研会員の河田晃幸さんから「いのちの大切さ」の話を聞き、鹿角を使ってペンダントを作成しました。その後、会員が行う椎茸ほだ木の伏せこみ作業の見学をしました。

児童は、実際に鹿角に触れ、河田さんの話を聞くことにより、「いのち」について考える機会となりました。

また、天候不良のため、伏せこみ作業の体験はできませんでしたが、椎茸栽培の話や作業の見学から、昨年自分たちの植菌した椎茸原木から椎茸を収穫することを楽しみにしているようでした。

豊田町育林研究会では、今後とも森林体験学習を継続し、子供たちの森林・林業に対する理解を深めていくことにしています。



鹿角のアクセサリー作り



椎茸ほだ木の伏せこみ作業